

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	(専)中央自動車大学校
設置者名	学校法人中央技術学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程	一級自動車整備科 (2025年度以前入学生)	夜・通信	320 時間	320 時間	
	一級自動車整備科 (2026年度入学生)	夜・通信	13 単位	13 単位	
	二級自動車整備科 (2025年度以前入学生)	夜・通信	160 時間	160 時間	
	二級自動車整備科 (2026年度入学生)	夜・通信	7 単位	7 単位	
	オートボディ研究科	夜・通信	80 時間	80 時間	
	オートボディ研究科 (2026年度入学生)	夜・通信	10 単位	10 単位	
(備考) オートボディ研究科（1年制）については、経過措置として授業時数で記載している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://cts.ac.jp/outline/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	(専)中央自動車大学校
設置者名	学校法人中央技術学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://cts.ac.jp/outline/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(有)キープ 代表取締役社長	2024. 4. 1 ～2027. 3. 31	事業内容の適正化
非常勤	ローヤル通商(株) 取締役	2024. 4. 1 ～2027. 3. 31	事業内容の適正化
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	(専)中央自動車大学校
設置者名	学校法人中央技術学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 年度の後半に各学科の担当職員より、科目ごとに時間数、学習目標、成績評価の方法等の内容を作成する。作成後、学校長の確認をとり、翌年度の初めにはホームページ等により公開する。	
授業計画書の公表方法	https://cts.ac.jp/outline/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績評価については、平常試験、レポート、平常評価（出席率、授業への取り組み等）にて学習意欲の確認・把握をあい、それを加味した上で、学期末試験の結果（優、良、可判定）を基に成績評価を行い、履修を認定する。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 （客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 成績評価における客観的な指標として、学期末試験等の各学科各科目の平均点を算出し、客観的な指標の設定を行う。 指標として、0～50点未満、50～60点未満、60～70点未満、70～80点未満、80～90点未満、90点以上に分布し把握するようにする。					
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://cts.ac.jp/outline/				
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業の認定に関しては、卒業試験の結果（優、良、可、不可判定）及び、平常試験、レポート、平常評価（出席率、授業への取り組み等）を加味した上で、卒業の認定を行う。 【判定基準】 <table> <tr> <td>優（100～90点）</td><td>良（89～70点）</td></tr> <tr> <td>可（69～60点）</td><td>不可（59点以下）</td></tr> </table>		優（100～90点）	良（89～70点）	可（69～60点）	不可（59点以下）
優（100～90点）	良（89～70点）				
可（69～60点）	不可（59点以下）				
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://cts.ac.jp/outline/				

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	(専)中央自動車大学校
設置者名	学校法人中央技術学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://cts.ac.jp/outline/
収支計算書又は損益計算書	https://cts.ac.jp/outline/
財産目録	https://cts.ac.jp/outline/
事業報告書	https://cts.ac.jp/outline/
監事による監査報告（書）	https://cts.ac.jp/outline/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
工業		専門課程	一級自動車整備科 (2026 年度以前入学生)			○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	5, 600 時間	1, 200 時間		3, 600 時間		800 時間
			5, 600 時間				
分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
工業		専門課程	一級自動車整備科 (2026 年度入学生)				○
修 業 年限	昼夜	全過程の終了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	145 単位	62 単位	単位	83 単位	単位	単位
			145 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数	総教員数
100 人		84 人	0 人	4 人		0 人	4 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年間の授業計画については、年間マスターを作成し学科・実習授業を行う。また、授業科目ごとの内容については、シラバスを作成し、公表できるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） 優（100～90点）、良（89～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級試験の認定は、優・良・可・不可判定で認定を行う。
学修支援等
（概要） 特待生制度及び入学状況に応じた入学金の減免制度を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
22 人 (100%)	1 人 (4.5%)	20 人 (91.0%)	1 人 (4.5%)
（主な就職、業界等） 自動車開発、自動車ディーラー、自動車専門工場、自動車自家工場等			
（就職指導内容） 求人を下さる企業様への斡旋、就職活動に関する指導及びサポート			
（主な学修成果（資格・検定等）） 1 級小型自動車整備士資格、2 級ガソリン自動車整備士資格、2 級ジーゼル自動車整備士資格等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
93 人	3 人	3.0%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 生活面では、学生一人一人とコミュニケーションを欠かさないように心掛け、保護者との連絡を密にとり、少しの変化でも対応できるよう取り組んでいる。 学習面では、どうしても個人差が出てしまうが、放課後等を利用して個々に対応することによって、学習面で退学という意識を持たないよう取り組んでいる。		

学校整理番号（3001）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	二級自動車整備科 (2026 年度以前入学生)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2, 800 時間	800 時間		1, 600 時間		400 時間
			2, 800 時間				
分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	二級自動車整備科 (2026 年度入学生)	○			
修 業 年限	昼夜	全過程の終了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	76 単位					
			38 単位	単位	38 単位	単位	単位
			76 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教 員数	総教員数	
75 人		67 人	11 人	6 人	0 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年間の授業計画については、年間マスターを作成し学科・実習授業を行う。また、授業科目ごとの内容については、シラバスを作成し、公表できるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） 優（100～90点）、良（89～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級試験の認定は、優・良・可・不可判定で認定を行う。
学修支援等
（概要） 特待生制度及び入学状況に応じた入学金の減免制度を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36 人 (100%)	15 人 (41.7%)	21 人 (58.3%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 自動車開発、自動車ディーラー、自動車専業工場、自動車自家工場等			
（就職指導内容） 求人を下さる企業様への斡旋、就職活動に関する指導及びサポート			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2 級自動車整備士資格（総合）等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61 人	1 人	1.6%
（中途退学の主な理由） 一身上の都合、進路変更等		
（中退防止・中退者支援のための取組） 生活面では、学生一人一人とコミュニケーションを欠かさないように心掛け、保護者との連絡を密にとり、少しの変化でも対応できるよう取り組んでいる。 学習面では、どうしても個人差が出てしまうが、放課後等を利用して個々に対応することによって、学習面で退学という意識を持たないように取り組んでいる。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		専門課程	オートボディ研究科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼	1, 348 時間	304 時間		844 時間		200 時間	
			1, 348 時間					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
25 人		16 人	0 人	1 人	0 人	1 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年間の授業計画については、年間マスターを作成し学科・実習授業を行う。また、授業科目ごとの内容については、シラバスを作成し、公表できるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） 優（100～90点）、良（89～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級試験の認定は、優・良・可・不可判定で認定を行う。
学修支援等
（概要） 特待生制度及び入学状況に応じた入学金の減免制度を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100%)	0 人 (0%)	19 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 自動車開発、自動車ディーラー、自動車専門工場、自動車自家工場等			
（就職指導内容） 求人を下さる企業様への斡旋、就職活動に関する指導及びサポート			
（主な学修成果（資格・検定等）） 自動車車体整備士資格等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 生活面では、学生一人一人とコミュニケーションを欠かさないように心掛け、保護者との連絡を密にとり、少しの変化でも対応できるよう取り組んでいる。 学習面では、どうしても個人差が出てしまうが、放課後等を利用して個々に対応することによって、学習面で退学という意識を持たないように取り組んでいる。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		専門課程		オートボディ研究科 (2026 年度入学生)		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	112 単位		53 単位	単位	59 単位	単位	時間	
				112 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
75 人		20 人	2 人	1 人		0 人		1 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年間の授業計画については、年間マスターを作成し学科・実習授業を行う。また、授業科目ごとの内容については、シラバスを作成し、公表できるようにする。
成績評価の基準・方法
（概要） 優（100～90点）、良（89～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級試験の認定は、優・良・可・不可判定で認定を行う。
学修支援等
（概要） 特待生制度及び入学状況に応じた入学金の減免制度を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 自動車開発、自動車ディーラー、自動車専門工場、自動車自家工場等			
(就職指導内容) 求人を下さる企業様への斡旋、就職活動に関する指導及びサポート			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2 級自動車整備士資格（総合）、自動車車体整備士資格等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 生活面では、学生一人一人とコミュニケーションを欠かさないように心掛け、保護者との連絡を密にとり、少しの変化でも対応できるよう取り組んでいる。 学習面では、どうしても個人差が出てしまうが、放課後等を利用して個々に対応することによって、学習面で退学という意識を持たないように取り組んでいる。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
一級自動車整備科	200,000 円	540,000 円	490,000 円	実習費 290,000 円 施設費 200,000 円
二級自動車整備科	200,000 円	540,000 円	490,000 円	実習費 290,000 円 施設費 200,000 円
オートボディ研究科	200,000 円	540,000 円	560,000 円	実習費 310,000 円 施設費 250,000 円
オートボディ研究科(3 年制)	200,000 円	540,000 円	490,000 円	実習費 290,000 円 施設費 200,000 円
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://cts.ac.jp/outline/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
① 教育理念、目的、目標 ② 教育課程、教育実施、学修成果 ③ 学生の受入れ、学生支援 ④ 教育実施組織、教員 ⑤ 教育環境 ⑥ 教育活動の基盤と改善、向上の取組 上記の項目に対して学校自己評価を行い、その結果に基づき、卒業生・企業関係者を含めた学校関係者評価委員会を開催することで、教育活動及び学校組織として重点的に取り組むべきことを把握し、学校運営の改善及び学校教育の質的向上に努めることを基本方針とする。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
有限会社キープ	令和7年10月～ 令和10年9月	自動車関係企業
株式会社I DOM	令和7年10月～ 令和10年9月	自動車関係企業
株式会社ホンダベルノ市川	令和7年10月～ 令和10年9月	自動車関係企業
ローヤル通商株式会社	令和7年10月～ 令和10年9月	自動車関係企業
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://cts.ac.jp/outline/		
(備考)		
第三者評価については、5年以内に実施する予定であるが時期は未定である。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://cts.ac.jp/outline/
--